

To
Do

工芸が次世代へ
シフトするために

▶ Vol.02

2019 10.16 18:30-21:00 at. KRP東地区 KISTIC 2F

テーマ：

ゲスト：桐本 泰一 氏 | 輪島キリモト

[継承と革新]

参加費：3,000 円（交流会費含む、軽食つき）

参加申込： <http://bit.ly/2Q350Hi>

お問い合わせ： dsn-info@krp.co.jp



▶ 参加申込

この度、京都リサーチパーク株式会社が事務局となる「京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト（新文化産業分野）」と、セメントプロデュースデザインが運営する「京都職人工房」では、連動企画として連続公開セミナーを開催する運びとなりました。地域に根差した伝統的なものづくり企業が、事業を発展させていくための方法論を、各地で先進的な取り組みをされている事業者をお招きしお聞きします。

第 2 回目は、漆器の一大産地・輪島にて 200 年以上に渡り「木と漆」の仕事に携わってこられた輪島キリモトの 7 代目、桐本泰一氏をお招きします。世代を越えて長く続いてきた家業を継承しながら、移り変わる時代に対してどのようにアプローチが必要であったのか、伝統・継承と革新のバランス感覚について迫ります。また、セミナー開催後には参加者同士の交流会も含まれておりますので、この機会にぜひご参加ください。

To Do ファシリテーター

▶ 金谷 勉 | セメントプロデュースデザイン

山崎 伸吾 | 京都職人工房ディレクター



講師プロフィール：桐本 泰一 氏（輪島キリモト）

1962 年石川県輪島市生まれ。筑波大学芸術専門学群生産デザインコース卒業後、コクヨ株式会社 意匠設計部に入社。その後、家業の桐本木工所入社し、朴木地（ほうきじ）職見習いを経て、木地屋からの漆器造形デザイン提案や木地屋が想う漆の器、家具、建築造作などの創作をはじめ。

グッドデザイン賞や三井ゴールデン匠賞グランプリなど多数受賞し、現在も木と漆のデザインプロデューサーとして国内外で幅広く活動中。